

令和3年10月25日

# 決算特別委員会(第1分科会) 資料

	ページ
1 地域の自主的・主体的活動の状況	1

地域振興部

地域の自主的・主体的活動の状況

1. 令和元年度

(千円)

所管	事業名	目的	内容	事業費
西部県民センター	子どもによる地域活動推進事業	子どもたちが、主体性をもって地域の資源を活かした活動を行う場をつくり、地域の活性化を図る。	○子どもによる地域活動への支援（3件） ・いのっ子クラブ：夏祭りでの太鼓の発表等 ・湯里わんぱくクラブ：老人会との餅つき交流会等 ・嘉久志まちづくり推進協：ホテルの養殖・放流 ○活動報告会の開催 3団体 約100名参加（来場者を含む）	364
西部県民センター	地域系部活動課題解決支援事業	高校生が、部活動等を通して地域に関わり活動することにより、地域への理解と愛着心の向上を図る。	○高等学校と連携した部活動等への支援（5件） ・江津工業高校：空き地への休憩所整備等 ・浜田商業高校：地元企業のWEBサイト制作等 ・島根中央高校：町産業祭への出店等 ほか2件 ○活動報告会の開催 5団体 約100名参加（来場者を含む）	1,378
西部県民センター	学生の石見地域研究委託事業	学生が、地域住民とともに地域の課題解決に取り組む機会をつくり、地域への理解と地域活動の実践力向上を図る。	○大学と連携(委託)した学生への支援（5件） ・島根県立大学：大田市波根町の観光資源活用 ・島根大学：川本町の公共交通利用 ほか3件 ○学生への地域紹介ツアーの実施（3地域） ○活動報告会の開催（県立大学の縁結びフォーラム内） 5団体 約250名参加（来場者を含む）	949
隠岐支庁 県民局	島の地域おこし協力隊支援体制 確立事業 (2カ年計画:R元～2年度)	地域おこし協力隊OB・OGのネットワーク組織（一般社団法人しまね協力隊ネットワーク）によるサポートが届きにくい、隠岐地域で活動する地域おこし協力隊員のための、隠岐独自のサポート体制の構築を目指す。	○サポートメンバー向け研修の実施（2回） ○協力隊員及び行政職員向け研修の実施（1回） ○初任者隊員及び行政職員へのヒアリングの実施 ・隠岐4町村を訪問	2,268

## 2. 令和2年度

(千円)

所管	事業名	目的	内容	事業費
西部県民センター	子どもによる地域活動及び地域系部活動支援事業	子どもによる地域活動や地域系部活動に取り組む団体のネットワークづくりを促すとともに、他地域への普及を図り、より多くの地域の活性化を目指す。	○地域活動に取り組んでいる団体や、取り組みたいと考えている者(学生・公民館職員等)の交流会の開催 ・令和3年3月6日(土) オンライン開催 17団体(個人) 43名参加	338
西部県民センター	学生の石見地域研究事業	学生が、地域住民とともに地域の課題解決に取り組む機会をつくり、地域への理解と実践力の向上を図る。	○学生と住民による地域イベントを実施 ・県立大学の学生10名と江津本町の住民8名が交流 ・江津本町を一緒に歩き、魅力や課題を共有 ・ワークショップにより意見を交換 ・江津本町に賑わいを創出するアイデアを絵付けした行燈を作成し、旧江津郵便局をライトアップ	294
隠岐支庁 県民局	島の地域おこし協力隊支援体制 確立事業 (2カ年計画:R元~2年度)	地域おこし協力隊OB・OGのネットワーク組織(一般社団法人しまね協力隊ネットワーク)によるサポートが届きにくい、隠岐地域で活動する地域おこし協力隊員のための、隠岐独自のサポート体制の構築を目指す。	○サポート体制の構築 ・令和3年4月に協力隊員OB・OGによる任意団体「隠岐地域おこし協力隊サポートコミュニティ」を設立 ○協力隊員及び行政職員向け研修の実施(3回) ○サポートメンバー向け研修の実施(1回)	2,074